

KITO

キトーレバーブロック LX形

LX003/005

取扱説明書



- 荷締め
- 緊締
- 巻上・巻下
- 固定
- 位置合わせ
- ゆがみ取り
- 引き寄せ
- その他
各種作業に



お客様へ

- ◎ 作業者の方および管理者の方は必ずお読みください。
- ◎ ご注文の仕様に間違いはありませんか。
- ◎ 梱包箱の中身を確認してください。
 - ①キトーレバーブロックLX形 ②保証書 ③取扱説明書(本紙)
- ◎ 外観、内容物等に異常はありませんか。
- ◎ LOTNO. (製品のネームプレートに記載)、ご購入年月日、ご購入販売店名等を右枠内に書き入れて、保証書と一緒に大切に保管してください。

■ LOT NO.

■ ご購入年月日

年 月 日

■ ご購入販売店名

警告表示の定義

この取扱説明書では、注意事項を「危険」、「注意」の2つに区分しています。

危険 取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合を示します。

注意 取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、指示事項は必ず守ってください。

本紙をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

使用目的

キトーレバブロックLX形は、人間の手動力を使った、通常の作業環境下において荷を水平・斜め方向から引寄せたり、つり上げたり、また荷を締め付けたりする作業を目的に設計製作しております。人間の運搬用途として設計製作されたものではありません。また、お客様の設備機械の一部として組み込む等、予期せざる目的に使用された場合、機能・性能の保証はもとより、予期せざる使用に起因した事故につきましても責任は負いかねます。本来の目的以外に利用される場合は、予めキトーにご確認いただくようお願いいたします。

使用上の安全注意事項

■安全規約

重い荷を移動する時、誤った操作や日頃の点検を怠れば常に危険が存在します。

キトーレバブロックLX形の使い方を誤ると、つり荷の落下などの危険な状態になります。据え付け、運転・操作、保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

- 危険**
- ◎人を支えたり、つり上げたり、運ぶために使用しないでください。
 - ◎つり荷の下やつり荷の動く範囲に入らないでください。
また、人の頭上を超えて荷を運搬しないでください。
 - ◎定格荷重を超える荷は、絶対につらないでください。
 - ◎製品および部品の改造は、絶対に行わないでください。
 - ◎LX003のシタカナグは分解しないでください。

- 注意**
- ◎作業開始時には、周りの人に作業開始を知らせてください。
 - ◎取扱説明書および注意銘板の内容を熟知しない人は操作しないでください。



◆キトーレバブロックLX形と組合わせて使用される製品、部品は、使用方法、強度を考慮し、適切な物を選定してください。

◆キトーレバブロックLX形のご使用に対し、日本国内には法規上特段の規制はありません。しかし、安全確保のため、「クレーン等安全規則」をご参照のうえ保守管理を実施し、また作業者の方に玉掛け技能や、クレーンの運転教育を実施されることをお勧めします。

■安全操作のための注意事項

① 使用前における注意事項

- 注意**
- ◎この取扱説明書は、実際にキトーレバブロックLX形をお使いになる作業者の方を対象として内容をまとめております。安全および使用に関して、全ての内容を理解してからキトーレバブロックLX形を操作してください。

キトーレバブロックLX形を使用する前に次の内容を実施・確認してください。

確認中に異常を発見した場合は、使用せずに「故障・点検中」の表示をし、点検・修理を保守管理者に依頼してください。

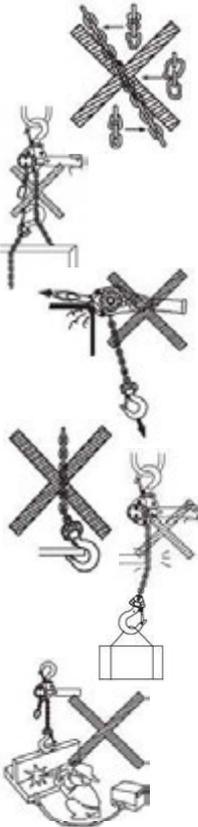
これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ◎使用前に「日常点検」(6ページ参照)を実施してください。
- ◎玉掛用具に、異常がないか。
- ◎作業内容を確認、余裕のある定格荷重・揚程のキトーレバブロックLX形か。
- ◎作業環境を確認、作業場所の確保と、作業の邪魔になるような障害物が無く、作業範囲が見渡せるか。
- ◎足場はしっかりしているか。
- ◎作業開始時には、周りの人に作業開始を知らせてください。
- ◎荷をつる前に、必ず遊転装置状態を解除していることを確認してください。(5ページ「遊転の操作方法」参照)

② 作業中における注意事項

⚠ 危険

- ◎ロードチェーンが変形したり傷付いたキートレバブロックLX形は、絶対に使用しないでください。
- ◎ロードチェーンをつり具代わりに荷に巻き付けて使用しないでください。
- ◎本体を支点にするような状態で絶対に使用しないでください。
- ◎つった荷を揺らさないでください。
- ◎フックの先端で、絶対に荷をつらないでください。
- ◎ロードチェーンを鉄板等の角にあてて操作しないでください。
- ◎鉄板等をつった状態で、溶接作業や切断作業をしないでください。
- ◎荷をつった状態で、クサリメリンクのロードチェーンを引張ったり、拘束したりしないでください。
- ◎荷をつった状態で、長時間放置しないでください。
- ◎フックヘワイヤー等を掛ける際は60°以内としてください。
- ◎フックラッチに荷重を掛けないでください。



⚠ 危険

- ◎ロードチェーンを溶接作業のアースとして使用しないでください。
- ◎溶接等による火花が、キートレバブロックLX形に付着しないようにしてください。
- ◎シタカナグが本体に干渉する位置まで、巻上げ作業をしないでください。
- ◎クサリメリンクが本体に入る位置まで、巻下げ作業をしないでください。
- ◎損傷があったり異音をするキートレバブロックLX形は、絶対に使用しないでください。
- ◎レバーを足で踏み付けるような操作は、絶対にしないでください。
- ◎パイプを差し込み、レバーを長くするような使い方は絶対にしないでください。
- ◎レバーのグリップが緩んだ物は、絶対に使用しないでください。
- ◎荷重が、フック中心の正しい位置に掛るように使用してください。
- ◎衝撃荷重がかからないように、使用してください。
- ◎クサリメリンク側のロードチェーンおよびクサリメリンクには荷重を掛けないでください。



⚠ 注意

- ◎レバー操作時に、ウエフックとレバーの間に手をはさむことがありますので、ご注意ください。

③ 作業後における注意事項

⚠ 危険

- ◎キートレバブロックLX形を持運びする時は、引きずったり、放り投げたりしないでください。



⚠ 注意

- ◎運搬後は、荷物を自分の足の上に落としたりしないよう、安全に荷物を降ろしてください。

④ 保守点検についての注意事項

⚠ 注意

- ◎点検は6ページ「定期点検」に従って定期的に行い、専任の保守管理者またはキートにご相談ください。

⚠ 危険

- ◎ロードチェーンの継ぎ足しや溶接は、絶対にしないでください。
- ◎ブレーキ部には油を付けないでください。

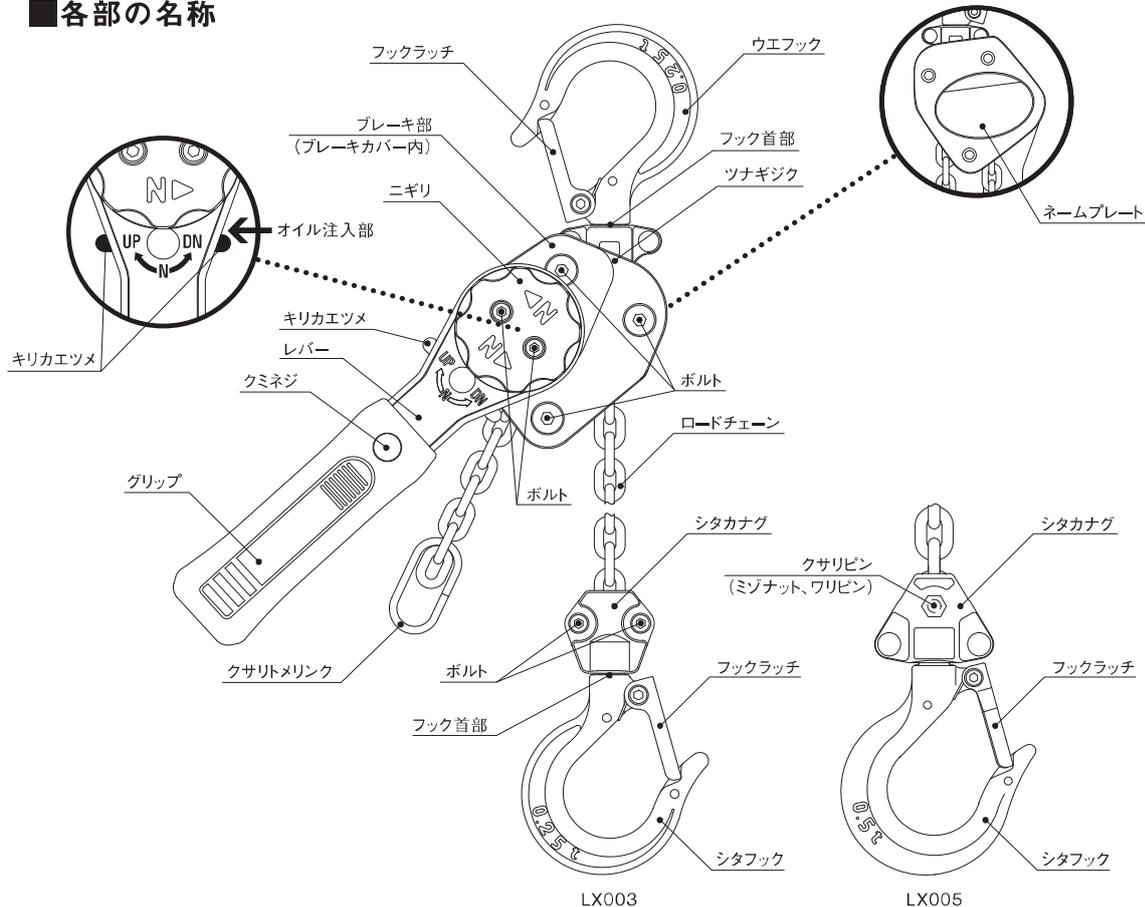
⑤ その他の注意事項

⚠ 危険

- ◎故障したり、修理中のキートレバブロックLX形は、使用しないでください。

主要諸元

■各部の名称



■諸元

形式	定格荷重 (t)	標準揚程 (m)	手動力*1 (N) [kg]	質量 (kg)	チェーン線径×ピッチ (mm)	チェーン掛数 (本)
LX003	0.25	1.0	200 [20]	1.6	3,2×9,0	1
LX005	0.5	1.2	310 [31]	2.6	4,3×12,0	1

*1: 定格荷重巻上げ時に平均して手にかかる力。

■使用環境条件

使用温度範囲	-40℃ ~ +60℃
使用湿度範囲	100%RH以下でお使いください。水中での使用は出来ません。
使用部材	標準的部材を使用しています。 スパークレス等の特殊材やアスベスト材は使用していません。 環境負荷物質に関し、RoHS指令に定められた6物質は本製品では含有していません。

キトーレバーブロックLX形は次の環境下で使用しないでください。

アルカリ性・酸性雰囲気の場合

有機溶剤・爆発性雰囲気の場合

なお、塩分の多い場所や、屋外使用が特に多い場所など、上記以外の通常の使用環境以外でのご使用を希望される場合は、保守・点検を頻繁に行うことで使用できる場合があります。その場合は、事前にキトーにご相談ください。

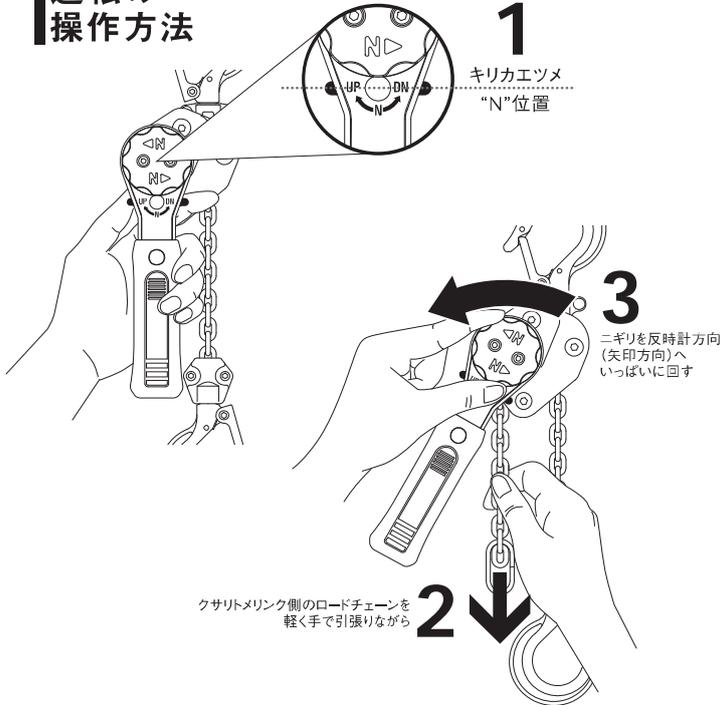


操作方法

重い荷を移動する時は、常に危険が存在します。
2~3ページ「使用上の安全注意事項」と、本項全ての事項に従ってください。

遊転機能は、無負荷時にブレーキを解放することでロードチェーンを自由に動かすことを可能とする機能です。

遊転の 操作方法



1 キリカエツメをレバーから左右均等に突き出すように、中立の位置に合わせてください。
(この位置が“N”位置)

2 クサリメリンク側のロードチェーンを軽く手で引張りながら、

3 ニギリを反時計方向(矢印方向)へいっぱい回すと、遊転状態になります。

これで、ロードチェーンを自由に動かすことが可能となりますので、シタフックを作業し易い位置に動かしてください。

◎遊転にならない場合は、ブレーキが締まった状態となっています。クサリメリンク側のロードチェーンが動かないように、しっかりと握った状態で、巻下げ操作(下記参照)を行なってください。

●遊転操作の解除方法

遊転操作を解除するには、シタフック側のロードチェーンを軽く手で引張りながらニギリを時計方向(ニギリ上の矢印の反対方向)に回すか、巻上げ操作を行うことで、ブレーキの遊びがなくなり、レバーによる操作が可能となります。

⚠ 危険

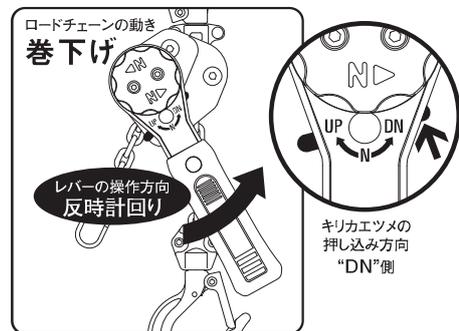
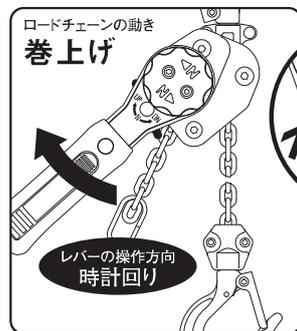
- ◎荷重が掛かっているときには、遊転操作をしないでください。
- ◎キリカエツメが“DN”状態のまま、クサリメリンク側のロードチェーンを引張らないでください。※レバーが勢い良く回転します。

⚠ 注意

- 遊転状態でロードチェーンを急激に引張らないでください。
- ◎強くロードチェーンを引き過ぎると、ブレーキが作動し、ロードチェーンが動かない場合があります。
- ◎この場合、一度巻下げ操作を行なってブレーキを解放し、遊転操作し直してください。
- ◎横引き(水平方向)作業に置いて、本体がニギリ上向きの場合には、上記と同様にブレーキが作動し易くなりますので、本体をニギリ横向きに向けて操作してください。



巻上下の 操作方法



⚠ 危険

- ◎巻上下の作業中は、ニギリに触れないでください。
- ◎荷重を保持するときには、キリカエツメを必ず“UP”位置にしてください。また、ニギリに触れないでください。

⚠ 注意

- ◎キリカエツメの位置は、作業方向と一致しているか常に確認しながら作業を行ってください。
- ◎無負荷または軽荷重(約3kg以下)時、レバーを巻上下操作しても、ロードチェーンが巻上下方向に動かない場合には、シタフック側のロードチェーンを引張りながら操作してください。※異常ではありません。

使用後の手入れと保管時の注意事項

◆キートンレバーブロックLX形を使用した後、また保管する時は、以下の項目を遵守してください。

- ⚠ 注意**
- 負荷状態で保管しないでください。
 - 使用後は、汚れや水分を拭き取っておいてください。
 - ロードチェーン、フック首部、フックラッチ、クサリピン(LX005のみ)、ツナギジク(ウエフック取付け部)、キリカエツメ部には常に塗油してください。ただし、ブレーキ部には注油しないでください。 ※各部位は4ページ「各部の名称」を参照ください。
 - 塵埃等が付着しないようにして、乾燥した場所に保管してください。
 - 使用後に何か異常を感じた場合には、6ページの「定期点検」の項目に従って、点検を実施してください。
 - 部品交換の際は、純正部品以外は使用しないでください。

定期点検

■点検の概要

定期点検には、作業者が作業前に行う日常点検と、十分な知識があり、なおかつ分解作業が可能な保守管理者が行う、より詳細な定期点検(1ヶ月ごと、1年ごと)があります。定期点検については、より詳細な定期点検マニュアルもご用意しておりますので、最寄りの弊社営業所までご相談ください。(各営業所は裏表紙をご覧ください)

■日常点検

◆日々の作業前に下記の項目をチェックしてください。

項目	点検方法	判定基準	対処方法(判定基準を満たさない時)	
1 ネームプレート	目視	●ネームプレートがしっかり付いており、表示内容がはっきり読めること。	ギヤケースミを交換する。	
2 機能	①巻上げ	●キリカエツメの“UP”側を押し込んだ状態で、シタフック側ロードチェーンを片手で軽く引張りながら、もう一方の手で巻上げ操作を行う。	●巻上げ時も、レバーを戻す時も「カチカチ」と鳴ること。	分解して点検する。
	②巻下げ	●キリカエツメの“DN”側を押し込んだ状態で、シタフック側ロードチェーンを片手で軽く引張りながら、もう一方の手で巻下げ操作を行う。	●巻下げ時には、音がしないこと。 ●レバーを戻す時には「カチカチ」と鳴ること。	正常に組み立てられているか、部品に異常がないか、分解して点検する。
	③遊転機能	●キリカエツメを中立の“N”に合わせニギリを左へ回し、遊転状態にして、ロードチェーン長さを調整してみる。	●ロードチェーン長さがスムーズに調整できること。 ●ニギリが軽く回ること。	キリカエツメ部に塗油する。 それでも改善されない場合は、正常に組み立てられているか、部品に異常がないか、分解して点検する。
3 フックラッチ	目視	●フックラッチに変形や傷が無いこと。	フックラッチを交換する。	
4 フック	目視	●ウエフック、シタフックとも変形や傷がないこと。 ●ウエフック、シタフックともフック首部が軽く回転すること。 ●シタカナグ固定用のボルト・ナットに緩みのないこと。(一部のLX003のみ) ●ミノナット・ワリピンの緩み・脱落が無いこと。	フックを交換する。 部品を交換する。	
5 ロードチェーン	目視	●目立つほどの錆が無いこと。 ●ロードチェーンに油が付いていること。 ●傷や変形の無いこと。	錆を除去する。 ロードチェーンに塗油する。 ロードチェーンを交換する。	
6 その他	目視	●グリップ・クミネジの緩み・脱落が無いこと。 ●ボルト(ニギリ・ブレーキカバー)に緩み・脱落が無いこと。 ●外観上、傷や破損が無いこと。 ●ロードチェーンの無負荷側末端のクサリメリンクに脱落や変形が無いこと。	レバーイシキを交換する。 部品を交換する。 部品を交換する。	

分解組立マニュアル、故障の原因と対策、定期点検基準マニュアル等の管理者用資料も別途準備しています。最寄りの弊社営業所までご相談ください。(各営業所は裏表紙をご覧ください)

MEMO 定期点検等のメモ書きにご活用ください。

本製品は日本国内向けであり、製品仕様・取扱説明書等、海外の規格には準拠していませんのでご注意ください。
もし、この取扱説明書の内容に不明な点や、さらに詳細な情報をお知りになりたい方は、最寄りの弊社営業所までお問合せください。

キトーはお客様が末永く、キトー製品を安全にご愛用いただけますこと、心より願っております。

KITO 株式会社キトー

本 社

山 梨 本 社 〒 409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 2000番地

東 京 本 社 〒 163-0809 東京都新宿区西新宿 2丁目4番1号 新宿NSビル9階

東京営業グループ TEL (03)5908-0173 FAX (03)5908-0179

特需営業グループ TEL (03)5908-0174 FAX (03)5908-0179

営 業 所

札幌営業所 〒 003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 8丁目南1-8 TEL (011)864-3264 FAX (011)864-3265

仙台営業所 〒 983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-10-36 TEL (022)291-8145 FAX (022)297-1976

新潟営業所 〒 950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口 1-1-13 TEL (025)247-1381 FAX (025)243-0798

北関東営業所 〒 327-0821 栃木県佐野市高萩町 1337-2 ミネルバス 107号室 TEL (0283)24-5261 FAX (0283)24-5288

千葉営業所 〒 260-0044 千葉県千葉市中央区松波 1-11-3 TEL (043)206-0611 FAX (043)206-0614

横浜営業所 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-21-7 TEL (045)474-3951 FAX (045)474-3957

甲信営業所 〒 409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000(山梨本社テクセンター1F) TEL (055)275-7608 FAX (055)275-7598

静岡営業所 〒 436-0029 静岡県掛川市南 1-6-15(キヨミスキャンパス1C) TEL (0537)61-1177 FAX (0537)61-1178

名古屋営業グループ 〒 465-0013 愛知県名古屋市名東区社口 1-1004 TEL (052)726-8686 FAX (052)726-8689

北陸営業所 〒 920-0022 石川県金沢市北安江 1-1-1(坂口第2ビル1F-D) TEL (076)262-3611 FAX (076)262-3880

大阪営業グループ 〒 570-0003 大阪府守口市大日町 2-10-3 TEL (06)6907-0601 FAX (06)6907-0614

中四国営業所 〒 700-0975 岡山県岡山市北区今 5-13-36 TEL (086)243-0882 FAX (086)241-0926

福岡営業所 〒 812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-27-10 TEL (092)483-6861 FAX (092)483-6869

サービ

札幌部品センター 〒 007-0825 北海道札幌市東区東雁来5条1-3-28 TEL (011)784-3633 FAX (011)784-3630

福岡部品センター 〒 812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-27-10 TEL (092)483-6864 FAX (092)483-6869

東部サービスグループ 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-21-7 TEL (045)474-3952 FAX (045)474-3958

東部サービス事務所 // TEL (045)474-3953 FAX (045)474-3958

西部サービスグループ 〒 570-0003 大阪府守口市大日町 2-10-3 TEL (06)6907-0611 FAX (06)6907-0616

西部サービス事務所 // TEL (06)6907-0610 FAX (06)6907-0616

お客様相談センター



受付時間9:00~17:00 (土・日祝日を除く)

TEL : 0120-988-558

FAX : 0120-988-228

E-mail : callcenter@kito.co.jp

注意:この取扱説明書は、事前の予告なく一部内容を変更することがあります。

取 扱 店